

202人が成人の仲間入り



成人としての意見

一月十五日に、農協会館で成人式が行われ、町内外の成人者二百二人の新しい門出を、田村町長はじめ多数の来賓のかたが出席して祝福しました。また、昨年十月に青年海上大学に参加した実業団体の中野隆三さん、大字善徳寺の室山ます美さんのお話等が発表されました。

横尾千鶴さんが、成人者を代表して挨拶をのべ式を終りました。このあと、「嫁ごが子に」という映画を鑑賞し、出身地区別に記念撮影が行われました。この成人式の企画は、新成人者によって行われたものです。おとなの特権入りをした新成人者に、成人としての誇りと責任を伺いました。

「二十歳を過ぎると年をとるのが早い。」「今が一番いい時だから、私は、こういう言葉をおんなから何度となく聞いています。確かに私が夢んできたこの二十歳間も、あつという間に過ぎた感じがします。でも、内容は十分満ちたように思っています。」

学校、部活動、友達との出会い、別れ、そして社会人としての出発。



伏畑 春美

出発



お祝いのべる田村町長



轟 榮之

成人の日に

あたって

今度ばかり成人としての出発です。今まで訓練をはじめ、色々な人に甘え育った自分に卒業し、自分で振る舞いたいと思います。そして、今さられた道を歩むのではなく、自分の力で道を切り開き、自分の足で行動し、人間としての優しさや素直な心を大切にして、新たな気持ちでこれから人の人生のみとこまかく、を、私なりに歩んでみたいと思います。

一月十五日、私は晴れて成人の仲間入りをする事に、私生活を改めて見守つてくれた人達や両親のおかけだと感じ、これからの自分の生きて行くうえでの参考にしたいと思えます。

さて今日から大人という事でありますが、私は、これからこうしようとか、ああしようとかという気持ちには特にありません。ただ、成人になったのだから、それなりの自覚と責任を持って行動しようと思えます。またそうすることが、今日とい

成人



飯島 齊藤久仁子

う日を脱つてくれた人達への唯一の意思表示だと思っています。成人の日の式典を催してくれた人達に心から感謝します。本心にあふれたことになりました。

期間は決しても止めることができず、だから何もしないなんても年だけはとる。

二十歳の誕生日を過ぎても、それは時間経過だけであって、それはど大したことのように感じなかったけれど、成人式をしたことによって、一つの区切りができたという気がする。

仕事をする、遊びしろ、その時その時を楽しく、有意義に過ごせば最高ではないだろうか？

学生時代は、年をとっても別に気にはなかなかったが、これからの一年一年は、すこゝちみがあるような感じがする。

これから、世間の事にもっと目を向け、自分に利益があると思ふ事には、自分立ち上げることでも挑戦して、本当の意味での「成人」にふさわしいと思つている。